広報 さめがわ

昭和56年
11月号
No. 335
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

恐ろしい山火事を空中と地上から防御!!

—鹿角平で大がかりな訓練—



福島県と鮫川村と白河地方市町村圏整備組合の主催による、大がかりな林野火災防御訓練が、10月27日青生野の乾草供給センター牧場で行われました。

この訓練は県内で一箇所隔年に県生活福祉部消防防災課が中心になって実施するもので、東白川四町村の消防団、白河広域圏の常備消防署、棚倉石川の両営林署が参加し、これに陸上自衛隊ヘリコプター部隊も参加する大規模なものです。

この日は好天気に恵まれ、場所も広大で、地上空中とも予想以上の訓練効果をあげることができました。県内各地浜通りや会津地方からも熱心な関係者が参観に訪れ、参観者を含めての参加数は1,000人を超える盛況でした。

今月の人口

(11月1日現在)

		前月比
人口	5,594	(+7)
男	2,790	(+3)
女	2,804	(+4)
世帯	1,137	(0)

- ⊙ 11月20日～22日　第34回鮫川村文化祭
- ⊙ 11月1日～30日　全国青少年健全育成強調月間
- ⊙ 11月26日～12月2日　秋の全国火災予防運動





今年は国連で定めた国際障害者年です。村ではいろいろな記念行事を実施していますが、10月22日には村や各種福祉団体等の関係者で記念植樹の行事を行いました。

障害をもつ皆様の社会生活への完全参加と、平等を実現するため一般の方々の理解と協力を一層進めたいものです。



長い年月にわたり消防団員として、また団長以下の役員として消防業務に精励し、郷土の安全と住民の生命財産を守って、このたび退任された方々に、10月9日村長から退職報償金が贈られました。

村長からねぎらいと感謝のあいさつがあり、報償金はひとりづつ交付されました。

終って茶話会に移り、在任中の火災や防災の思い出話も出て、しんみりした雰囲気のうちに散会しました。

今月の納税

固定資産税（第四期分）
国民健康保険税（第六期分）
納期限　一一月二五日

おめでた

九月

滝　須藤　勇一　父須藤一美
道少田　大橋　里美　父大橋邦次

十月

大　沢　関根　佳世　父関根市男
菅ノ目　大竹　幸恵　父大竹　徹
芦ノ草　吉田　貴子　父吉田光隆
広　畑　芳賀　義樹　父芳賀義文
関　口　藤田　則子　父藤田　甫
大　塩　矢吹　瑠美　父矢吹孝二
青生野　菅野　貴生　父菅野昭夫
滑　石　北郷　恵子　父北郷高二

おくやみ

十月

薄久保　高木ハツノ　59歳　高木勝重　年令世帯主
関　口　蛭田　ツヤ　74歳　蛭田義一
前　沼　青戸　武　73歳　青戸芳夫
馬　場　鈴木チイノ　58歳　鈴木正男
折　戸　阿久津忠男　62歳　阿久津一男
木戸澤　石井さゆり　3歳　石井輝二

牧場のうみ (31)

一〇月一七日青生野鹿角平乾草供給センター牧場で実施された県村、広域圏主催の林野火災防御訓練は、場所もよく、気象条件もよく、また参加した消防団員、署員、それに婦人部隊の活動も手際よく、大変好評を得て終ることができました。

テレビも各社がくりかえし放映したため広く県内の話題になりました。

林野火災の消火活動で一番困難な要因は水のないことであります。昔から人海戦術で青葉のついた杉の枝などで叩いたり、土を掘ってかぶせるなどの原始的な方法がとられたものです。

今度の訓練で行われたジェットシューターによる注水消火の方法や、ヘリコプターからの化学消火剤の撒布などの確実な消火偉力には誰もが感心したところであります。

しかし実戦の場合を考えると、果してこれらの方法にのみ頼れるものかと疑問を感じないわけにはいかないようです。

現在の段階ではジェットシューター部隊を急速に編成して活動態勢に入るには困難があります。重い水のうを背負ったこの部隊が山の急坂をかけ上り、かけおりることの容易でないことも想像されます。

ヘリコプターによる空中からの消火偉力は見事ですが、化学薬剤の調整に要する時間も相当のものであるし、いつでもどこでも期待できるものではなく、大規模な林野火災で人家集落に火勢が迫るような場合に限るのが適切ではないかと思います。

それで何といっても実戦の場合の中核的役割を果すのは、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプの連携による遠距離、高落差放水による消火方法であります。

即ち本村消防団が機会毎に訓練している中継送水の技術こそ本命というべきでしょう。

今回の訓練でも本村消防団員、消防分署員で組織した中隊が、標高差五〇m以上もある山頂部に、遠距離、高落差を克服して、短時間に水を送って放水し、参観者を驚かせました。

火災はもとより出さない注意と努力が大切であり、消す方法より予防の消防が重要であります。雪害などで折損枯枝などが散乱して山火事の拡大しやすい状態になっている現在、すべての地域で発生の防止に注意と努力をつくされるよう、この際改めてお願いするものであります。

林野火災防御訓練の教えるもの

村長　石田卯子八

市町村別交通事故防止コンクール　Cグループ（人口1万人未満町村）50町村中第42位

県南では初めての林野火災防御訓練



▼ 厳粛な開会式風景、訓練参加の消防団員、署員が整然と整例。岩野草婦人消防隊、青生野婦人消防隊もタスキ掛けで参加しました。
この訓練の統監は県生活福祉部長磯貝博氏、副統監は石田村長、白河広域圏管理者で進められました。







▲ 上は初期の山火事や、小範囲の山林火災の消火に適するジェットシューター部隊の活動。
下は高落差放水消火で、小型ポンプ数台を20本ものホースで連結し、標高の高い山林火災を確実に鎮圧する訓練で、鮫川村消防団の得意とする消火技術です。





陸上自衛隊のヘリ部隊が参加する消火訓練は当地方では初めての試みで、見る人々に手に汗を握らせました。化学消火薬剤の調整から、機体への吊り下げ、空中からの消火まで、的確迅速に行われ、参観者一同から大きな拍手がわき起りました。

秋の全国火災予防運動

11月26日～12月２日

《統一標語》
毎日が防火デーですぼくの家

白河広域管内の九月末現在の火災は四三件（昨年同期より一件増）死傷者は一二人（昨年同期より八人増）と憂うべき事態となっております。
村民ひとりひとりが火の元の総点検を行い火災の予防に努めましょう。

◎石油ストーブやコンロをコタツに使用しないこと。
◎ストーブ、石油風呂釜に給油するときは、灯油であることを確認し、火を完全に消してから給油すること。
◎タバコの投げすてはしないこと。
◎子供が火に興味を示したら、火の正しい取扱い方と恐しさをよく教えること。
◎焚火をする時は消防署へ届出ること。

火事と救急は１１９
棚倉消防署鮫川分署

村内の交通事故　（10月31日現在）　発生11件　・　死亡２人　・　負傷者13人





新農業構造改善事業で計画された農業者トレーニングセンターは、先に行われた指名競争入札の結果、本体工事は郡山市村越建設が1億5,750万円で落札契約し電気設備は白河市白河電設が1,900万円で、機械設備は郡山市蜂屋工業が1,500万円で杭地業は東北ポールが480万円でそれぞれ落札契約しました。

工期は今年度と来年度の継続事業で完成されます。

これで待望の広大な村民体育の殿堂が建築されて皆様に広く活用して頂けるようになります。

写真上は10月16日行われた起工式の鍬入れの儀、下は主催者のあいさつ。

化式文彰育表教係県関

村の学校給食センターが優良保健給食団体で表彰される

―西野小はへき地教育経営優良学校―

教育、文化の振興に尽力してきた功労者をたたえる県の教育・文化関係表彰式が「文化の日」の一一月三日、福島県文化センターで行われ、わが村の学校給食センターが優良保健給食団体として、また西野小学校がへき地教育経営優良学校として名誉ある表彰をうけました。

わが村の受賞者は次のとおり。

▽優良保健給食団体
鮫川村学校給食センター

▽へき地教育経営優良学校
鮫川村立西野小学校

▽永年勤続教職員
西野小　校長　橋間　博
西野小　教頭　栗林　孝夫
西野小　教諭　小松　綾子

関根一好さんが

農林水産大臣感謝状受賞

一〇月一八日「統計の日」に東北農政局福島統計情報事務所において表彰式が行われ、関根一好さん（西山字棚橋）に農林水産大臣感謝状が授与されました。

関根さんは、農家経済調査記帳農家として五年余の永きにわたり統計調査に尽力し、農林水産施策の基礎資料作成に寄与され、その功績により農林水産大臣感謝状が贈られたものです。

心からお祝い申し上げます。

児童遊び場にすべり台

塚本部落に設置

赤坂西野の塚本部落児童遊び場に、新しいすべり台が設置されました。

これまであったすべり台が破損したので、鮫川村社会福祉協議会が共募福島県支部の補助を得て設置したものです。

真新しいすべり台は子供たちから大変よろこばれています。

第34回鮫川村文化祭 11月20日～22日

第三四回鮫川村文化祭は次の日程で開催されます。多数の皆様のご参加、ご出陳、ご観覧をお待ちしております。

山村開発センター

〈20日〉
◇幼小中学校児童生徒学習発表会

〈21日〉
◇農業体験発表会、品評会表彰式
◇文化講演会
◇映画会（ああ野麦峠）
◇素人のど自慢大会

〈22日〉
◇お母さん、お嫁さんに感謝する会
○優良健康赤ちゃん表彰
○小中学生の感謝作文発表
○アトラクション
◇青年夕べの集い

〈20日～22日〉
◇村政広報展
◇国際障害者年記念作品展
◇老人作品展
◇一般作品展
◇華道展
◇さつき盆栽展
◇版画展
◇通信館

文化センター

〈20日～22日〉
◇農業展
○一般農林産物品評会
○特産物品評会
○農業改良等
◇生活改善展
◇商工展
◇婦人会バザー
◇生活工夫展

公民館

〈22日〉
◇短歌、俳句会

〈20日～22日〉
◇幼児作品展

歴史民俗資料館

〈20日～22日〉
◇色紙展
◇中井恒峯日本画展
◇読書感想画展
◇石造文化財写真展
◇鮫川村埋蔵文化財展

鮫川小学校

〈20日～22日〉
◇幼小中高児童生徒作品展

農協事務所

〈20日～22日〉
◇交通事故相談

紺碧の秋空に喚声こだます
―健康づくり秋季大会









今年の春の気象では２年続きの冷害必至かと心配されましたが、まづまづの収穫が予想され、10月10日の健康づくり秋季大会は盛会を極めました。

参加チーム壮年ソフト21、家庭バレー24で、終日熱戦と喚声で湧きました。結果は壮年ソフト優勝東石サンライズチーム。準優勝渡瀬Ａ、３位新宿、西野Ｂの成績でした。

家庭バレー優勝渡瀬ＯＢチーム。準優勝西山Ｂ、３位渡瀬Ｂ、渡瀬Ａの順でした。

花いっぱいコンクール



家満寿会が努力賞に入賞

郷土を花で飾ろう―という「第一四回花いっぱいコンクール」の審査会は一〇月二一日、福島市の農林中金福島支所で開かれ、本村から応募した家満寿会が、見事努力賞に入賞しました。

このコンクールは国土緑化県推進委員会、農林中金福島支所、福島民友新聞社が共催で推進している〝花いっぱい県民運動〟のメーン行事として毎年開催されているものです。

ことしは県内小、中、高校、一般団体、個人から応募のあった四〇七点の花壇の中から六六点が入賞、このうち家満寿会が二年連続の努力賞に入賞しました。

場所は県道棚倉鮫川線の東北電力前から教員住宅前までの二〇〇㍍と、村道巡ケ作宿ノ入線の田中義明氏宅から鮫川幼稚園前までで、沿道には見事に花が咲き誇り、道行く人々の目を楽しませてくれました。

皆さんも来年からは参加してみてはいかがでしょう。



八種目に健脚競う
青年陸上大会

鮫川村青年会の新しい企画の第一回青年陸上大会が、一〇月二五日村民運動場で開かれました。

この大会は、より多くの会員が参加できる行事として、会員相互の親睦を図り、青年の意気を盛りあげようと、昨年までの駅伝大会に代って開かれたものです。

大会には新しく発足した富田分会を含め六分会（西野、中野、東石、富田、渡瀬、青生野）と一般からも参加者があり、日頃の体力と健脚を競いました。

成績は次のとおり。

◇男子▽一〇〇㍍①芳賀義美（一般）12秒8②中川西宏幸（東石）③青戸義之（富田）▽二〇〇㍍①羽田義孝（東石）30秒7②岡部明（青生野）②生田目進（西野）③石井政夫（西野）▽砲丸投げ①矢吹一男（中野）12㍍24②須藤久米夫（西野）③小滝慎一（中野）▽走り高跳び①矢吹佳伯（西野）1㍍57②矢吹一男（中野）③小滝慎一（中野）▽走り幅跳び①菊地常夫（渡瀬）4㍍74②羽田義孝（東石）③須藤博文（西野）◇女子▽砲丸投げ①鈴木智子（中野）9㍍58②石井三代子（西野）③緑川まさ子◇障害物競争①佐藤博・味原春江（東石）1分17秒6②小島満金沢幸子（富田）③石井一弥・石井三代子（西野）◇分会対抗リレー①富田分会9分16秒6②青生野分会9分19秒③東石分会9分34秒9④西野分会⑤中野分会

身体障害者手帳交付用診断は村の診療所で受けられます

このたび鮫川村診療所長板谷年城先生が、身体障害者手帳交付用診断書の作成医師に指定されましたので、次のような方は利用してください。

1　手が不自由なため診断書を必要とする方
2　足が不自由なため診断書を必要とする方

○手帳を持つと次のような恩典があります。
(一)日常生活用具の給付
(二)補装具の給付
(三)旅客運賃の割引
(四)税の減免
(五)その他

なお詳しいことは、村役場住民課福祉係に相談してください。

移動県政相談のお知らせ

〝安心して生活できる住みよい郷土を作ろう〟と県では皆さんの声を県政に反映させる窓口として県政相談コーナーを開設しております。

今回は移動県政相談を鮫川村山村開発センターで行いますので、遠慮なくご相談下さい。

◆相談事項
○　県などの仕事に対する意見苦情または要望など
○　届出、申請手続などでわからないこと
○　生活上のことでなやんでいることや困っていること

◆日　時
一二月四日（金）
午前一〇時～午後三時

◆場　所
鮫川村山村開発センター

◆相談の内容はすべて秘密に扱います。

◆当日回答できなかったものは後日速やかに回答します。

（福島県県南行政事務所）





村の教育委員会から指定をうけて体育科の研究を進めていた鮫川小学校の研究発表会は、10月23日多数の先生方を迎えて行われました。

ひとりひとりの子どもの体力を高めるための指導過程をどう改善すればよいか ― を主題としたこの研究会は、研究経過報告から全体会、講師の講演と続き、立派な成果をあげました。

福島県最低賃金が改定

1　日　2,748円
1時間　344円

福島県最低賃金が、10月24日から次のように改定されました。

この最低賃金は、福島県内の事業所で働くすべての労働者に対して適用されます。使用者はこの最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。

なお産業別最低賃金の適用を受ける労働者については、産業別にきめられている最低賃金が適用されます。

最低賃金額	除外賃金
1　日　2,748円 1時間　344円 （賃金が時間によって定められたもの）	精皆勤手当 通勤手当 家族手当

詳しくは白河労働基準監督署へ。

ゴミの収集日

（11月～12月）

収集コース	種別	収集曜日	11月	12月
A 江竜田～上繁地～木之根～中山～田尻～二反田～反田～彦次郎～前沼～広畑～新宿～湯ノ田コース	可燃物	毎週月・木曜日	2.5.9.12.16.19.26.30日	3.7.10.14.17.21.24.28.31日
	不燃物	隔週月曜日	2.16.30	14.18日
B 新宿（新宿橋より）～道少田～宿ノ入～大塩コース	可燃物	毎週火・木曜日	5.10.12.17.19.24.26日	1.3.8.10.15.17.22.24日
	不燃物	隔週月曜日	2.16.30日	14.28日
C 真坂～茅～酒垂～宝木～水口～官沢コース	不燃物	隔週水曜日	11.25日	9.23日
D 越虫～青生野～戸草～蔵の草～官代～遠ケ竜～中沢コース	不燃物	隔週火曜日	10.24日	8.22日
E 石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	毎週第一金曜日	6日	4日

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

読者の声

○ふるさと遠く知る情報

秋も深まり、朝夕は冷え込みも厳しくなってまいりましたが、村長さんはじめ広報係の皆様にはご壮健にてご活躍のことと存じます。

いつも広報「さめがわ」をお送り頂き、ありがとうございます。ふる里を離れている私共にとって故郷の移り変りを知る唯一の情報。すばらしい発展ぶりに驚異を感じながら、懐かしく拝見させて頂いております。

さて広報で拝見致しまして驚きましたが、先般の台風一五号では大変な被害がありました由、被害を受けられました方々に、心からお見舞い申し上げます。

東京都杉並区　中川西　スエ

○冬来りならば―

朝夕の冷えこみが例年になく早く、冬の到来の近さを感じます。

広報「さめがわ」九、一〇月号ありがとうございました。

また、一〇月一七日のニュースでは、林野火災の防御訓練を拝見致しました。

余りよい年ではなかったようですが、せめてこの冬には、昨年の如き豪雪のないことを祈念しています。

福島市下野寺山神　堀口　知明